

# 海事プレスに掲載されました

2015年8月31日(月)

## 神戸監理部、高校で溶接技術の特別授業

神戸運輸監理部と兵庫県高等学校教育研究会工業部会機械系部会は27日、尼崎市立尼崎双星高校で溶接技術特別授業を行った。「造船・船用工業次世代人材育成のための取り組み」として毎年実施している。金澤鐵工と神戸船用工業会が協力した。

講師は、マリンエキスパート表彰を受けている金澤鐵工の森崎礼一製造部長。マリンエキスパートは、海事産業の“匠の技”を持つ

技能者に対する神戸運輸監理部の独自の表彰制度。参加したのは、双星高校の溶接クラブ部の生徒10人。

9月26日に近畿中小企業溶接事業協同組合の第2回溶接技術コンクール、10月22日に兵庫県職業能力開発協会の「ものづくり兵庫技能競技大会」がある。今回の特別授業は、これら大会を前の練習としても行われた。

授業で森崎氏は、個々に溶接の



高校生の溶接に感想を述べる森崎氏(左)

指導を行った。授業後、生徒は「プロの人の技術を実際に教えてもらうことができよかった」と答えた。